

本県における産業廃棄物の排出及び再生利用に係る特徴

1 排出に係る全国との比較

平成 28 年度産業廃棄物の種類ごとの排出率を本県と全国で比較すると、「汚泥」が本県 45.7%、全国 43.1%と最も多くなりますが、「がれき類」が本県 22.2%に対して全国は 16.7%、「動物のふん尿」が本県 11.1%に対して全国は 20.1%となっており、本県では全国とは異なり、「動物のふん尿」より「がれき類」が多く排出されています。

これは、三重県の産業構造が、全国と比較し製造業や建設業が盛んであることに起因しています。

2 再生利用に係る全国との比較

平成 28 年度の産業廃棄物の再生利用率については、本県 46.4%に対して全国は 53.2%となっており、全国に比べ 6.7pt 低い状況となっています。

この主な要因として、以下のことがあげられます。

- ・「動物のふん尿」や「ばいじん」について、全国と本県はほぼ同率となりますが、総排出量に対して占める排出量の割合が本県の方が低いため。
- ・「鉱さい」について、全国に比べ本県の再生利用率は低く、かつ、総排出量に対して占める排出量の割合が本県の方が低いため。

表 1 産業廃棄物の排出及び再生利用に係る対比表（平成 28 年度）

	排出量構成割合		再生利用率		総排出量に対する再生利用量の割合		
	全国	三重県	全国	三重県	全国	三重県	全国との差
全ての廃棄物	100.0%	100.0%	53.2%	46.4%	53.2%	46.4%	-6.7%
燃え殻	0.5%	0.5%	71.2%	80.1%	0.3%	0.4%	0.1%
汚泥	43.1%	45.7%	6.9%	12.6%	3.0%	5.7%	2.8%
廃油	0.8%	0.7%	43.2%	54.4%	0.3%	0.4%	0.1%
廃酸	0.7%	0.8%	30.0%	26.6%	0.2%	0.2%	0.0%
廃アルカリ	0.7%	6.6%	19.9%	8.5%	0.1%	0.6%	0.4%
廃プラスチック	1.8%	1.6%	58.3%	62.5%	1.0%	1.0%	-0.1%
紙くず	0.2%	0.2%	75.0%	33.5%	0.2%	0.1%	-0.1%
木くず	1.9%	1.7%	82.5%	87.5%	1.6%	1.5%	-0.1%
繊維くず	0.0%	0.1%	58.1%	92.1%	0.0%	0.0%	0.0%
動・植物性残さ	0.7%	0.4%	65.4%	42.3%	0.4%	0.2%	-0.2%
動物系固形不要物	0.0%	0.0%	81.9%	-	0.0%	-	-
ゴムくず	0.0%	0.0%	68.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
金属くず	2.3%	2.0%	94.6%	40.4%	2.1%	0.8%	-1.3%
ガラスくず等	1.9%	3.9%	73.9%	82.5%	1.4%	3.2%	1.8%
鉱さい	4.0%	1.1%	93.1%	57.0%	3.8%	0.7%	-3.1%
がれき類	16.7%	22.2%	96.1%	90.3%	16.1%	20.0%	3.9%
動物のふん尿	20.1%	11.1%	95.0%	95.7%	19.1%	10.7%	-8.4%
動物の死体	0.0%	-	36.8%	-	0.0%	-	-
ばいじん	4.6%	1.3%	75.8%	76.8%	3.5%	1.0%	-2.5%